

## 2021年3月22日 日本テレビ 定例記者会見

### 《 要旨 》

#### 1. 「スッカリ」について

3月12日(金)放送内でアイヌ民族の方々に対して傷つける表現があり、制作担当者にアイヌ民族の皆様が差別を受けてきたことの理解が足りず、放送した言葉が直接的な差別表現であることの認識が欠如していた。公共性と多様性、そして基本的人権を尊重することを求められるマスメディアとして、その責任を大変重く受け止めている。原因を検証して「北海道アイヌ協会」の皆さまをはじめとするアイヌ民族の方々や関係各方面の皆様と向き合って、再発防止策をまとめる。アイヌ民族の方々の歴史や文化を学び、理解し、伝えるという取り組みを、制作現場をはじめとして、全社的に徹底していく。

#### 2. 視聴率動向と編成戦略

##### ・視聴率動向

1月、2月は連続個人視聴率三冠を獲得し、3月も獲得予定。但し全体的に少し落ち込んでいる為、リアルタイムでテレビを見てもらう施策に力を注いでいく。

##### ・編成戦略

「ZIP!」「ヒルナンデス!」はスタートして10年経ち、4月から大きく模様替えを行う。特に「ZIP!」はロゴマークやスタジオセットも一新し、初の女性司会者となり、皆様に新しいものをお見せ出来るのではと思っている。ドラマはリアルタイム視聴に繋がるPRを考えていきたい。また4月期ドラマも素晴らしいキャスト、素晴らしい企画なので是非見て頂きたい。

#### 3. 営業状況

##### ・放送収入

上半期は放送収入が落ち込んでいたが徐々に持ち直してきた。スポットが下半期改善し、2月は前年を上回り3月も好調。スポットの回復が放送収入全体をけん引している。

##### ・放送外収入

劇場版「奥様は、取り扱い注意」が3月19日(金)から公開となり、好調なスタートをきっている。また英国ITVスタジオと共同で「Stacking It!」というフォーマットを共同開発した。

#### 4. 質疑他

##### Q. 2020年度の振り返りについて

- A. 新型コロナウイルスに翻弄された一年となり、業務の仕方や視聴者の方の生活様式が変わり新しい日常となった。新型コロナウイルスによってプラスに転じる兆候を、しっかりとキャッチして2021年度は伸ばしていきたい。

**Q. 今年の２４時間テレビについて**

A. 昨年、新しい日常の中で行い、成功したと思っている。「２４時間テレビ」で集められた寄付金を活用した支援を、必要とする方や施設にしっかりとお届けすることが最大の使命。今年もどんな形であろうとも「２４時間テレビ」を行い、達成していきたい。

**Q. 今年の野球中継について**

A. 昨年は「ＡＩキャッチャー」などの取り組みをしたが、今年も新しい解説者に入って頂くなど、引き続き野球の素晴らしさ、魅力をお伝えしたい。

(了)

小杉 善信	代表取締役 社長執行役員
福田 博之	取締役執行役員